

令和7年度 山口県私立学校教育功労者表彰に係る受賞者一覧

○校種:高等学校等

(※年齢は6月5日現在)

所属	学校法人高水学園	職名	校長	氏名	たかた	みき	性別	女	年齢	59
	高水高等学校、高水高等学校附属中学校 (岩国市)				高田 美樹					
<p>昭和63年に高水高等学校に奉職し、普通科長、教頭を経て、令和4年5月からは高水高等学校・同附属中学校初となる女性校長として、37年の長きにわたり私学教育の振興に尽力してきた。</p> <p>高水学園は、建学の精神である「徳性の陶冶(とうや)」を礎に、「論語」の一節に由来する「楽学」を学びの精神とし、生徒が仲間や教員と共に楽しく学び、様々なことに挑戦しながら「自分の強み」を培うことを応援している。「楽学」の言葉どおり、生徒と共に楽しく学び続ける姿勢を忘れることなく、生徒の好きなことや夢への挑戦が後押しできるよう日々努めている。</p> <p>リーマンショック後の平成21年に職業指導主任に就任し、雇用環境が悪化する中で、生徒に対して折れない心や学び続ける力の大切さを指導してきた。校長就任直前に、「ペップトーク」(アメリカのスポーツ界で生まれた、コーチや監督が選手を励ます激励のスピーチ)がセールスマンの営業研修や技術者の意欲を高めるために有用であることを知り、校長に就任するや否や、同校で「ペップトーク研修」を実現するとともに、校外での講演等で「背中を押すプラスの言葉かけ」の大切さについて熱弁をふるった。</p> <p>国際交流に関しては、新型コロナウイルス感染症の動向を見極めつつ、附属中学校において、米軍岩国基地内の「岩国ミドルスクール」や友好関係にある台湾の「建成国民中学校」との対面交流を実現した。また、高等学校においては、海外姉妹校との交換留学や海外修学旅行の再開に加え、ロータリークラブの交換留学プログラムへの参画を実現した。</p> <p>高等学校の普通科においては、隔週土曜日に、部活動や体験学習等により生徒一人ひとりの「やりたい」をサポートするサタデープログラムや岩国短期大学との高大連携授業を実施するなど、特色ある教育の推進に努めた。</p> <p>令和6年度には、文部科学省のDXハイスクール事業の採択による施設設備の充実や、校務支援システム、チーム担任制の導入等による働き方改革にも取り組んだ。</p> <p>持ち前のリーダーシップをもって、様々な取組を積極的に推進し、その実現に寄与した功績は誠に大きなものがある。</p>										

所属	学校法人香川学園	職名	副校長	氏名	おだむら	ひろまさ	性別	男	年齢	62
	宇部フロンティア大学附属香川高等学校、宇部フロンティア大学附属中学校(宇部市)				小田村 博正					
<p>昭和61年に香川高等学校兼宇部短期大学附属中学校に奉職し、以来、39年の長きにわたって私学教育の振興に尽力してきた。</p> <p>香川高等学校は、普通科に、特進コース、進学コースのほか、中学校からの6年一貫コースを設置し、個々の適性や関心に応じた指導により、一人ひとりの進路実現を図るとともに、生活デザイン科、食物調理科、保育科では、特別講師を招くなど一流の技と心を学ぶ機会も設けながら、専門性の高い人材の育成に取り組んでいる。</p> <p>こうした多様性豊かな学校の中で、教科指導(国語)において、優れた指導技術により入試問題の傾向を分析しつつ最新の動向に対応するなど、難関大学進学を目指す生徒のサポートに努めた。</p> <p>中学校のクラスの受け持ちや担任を数多く経験し、きめ細かな学級経営や進路指導を行うとともに、学校行事の一つである合唱コンクールでは、受け持ちのクラスを大賞受賞に導いており、生徒との信頼関係や雰囲気づくりを重視し、持ち前の統率力でクラスを一つにまとめた。</p> <p>平成28年には、進路指導部長として、特に普通科の進路関係業務に携わり、増加する総合型選抜や推薦入試への対策を講じながら大学合格実績に貢献した。令和4年には中学校教頭に就任し、以後、校長を積極的に補佐しながら、円滑な学校運営に尽力した。</p> <p>コロナ禍においては、適切に予防対策や事務処理がなされるよう努め、令和7年度入試から導入したWeb出願やWeb決裁の実施に当たっては、ICT活用を推進するデジタル推進室を統括し、手順の検討や課題の抽出に努め、中心となって入試要項の作成に取り組んだ。</p> <p>本年度からは、副校長として校長を支えながら、時代や社会に立ち向かって生きる人材の育成を推進するとともに、将来的な高校(学科)の在り方についての検討にも着手している。</p>										